SHINCLUB 163

(株)辰　東京都渋谷区渋谷3-8-10　JS渋谷ビル5F　tel/03-3486-1570　fax/03-3486-1450

「Zefa」撮影：阿野太一

今月のトーク/monthly talk

東京オリンピック

写真は、2012 年春、竣工した神宮前の広告関係の会社のオフィスです。このたび撮影が終わり、ご紹介できるようになりました。隣に建つ建物も弊社施工です。神宮前では、けやき並木の大通りに「表参道けやきビル」も完成となりました（内装工事完了後、後日ご紹介します）。

今月のフロントラインでは、「けやきビル」の施工のための CG 製作を行った、渡辺健児さんに登場いただきました。渡辺さんは、ロンドンオリンピックのメインスタジアムの CG 製作でも知られており、帰国後、多くの設計事務所と協働作業をされています。

さてそのオリンピックですが、2020 年、再び東京で行われることが決定しました。1964 年、まだ幼かった筆者は、開会式のときに東京の空に五輪の飛行機雲が描かれるのを窓から見て、感動した思い出があります。

当時は、高速道路がどんどん整備され、立派な体育館ができ、ビルも建設されて、「日本はこれから素晴らしい国になるのだ」という気運が、そこここにあふれていた気がします。

甲州街道で裸足のアベベや円谷選手に旗を振って応援し、三宅選手の重量挙げに思わず力が入ったという大人は少なくないことでしょう。優勝した女子のバレーボールは、「ママさんバレー」という「主婦もスポーツしたっていいじゃないか」という文化を生み出しました。子供や学生だけでなく社会人も参加し、技術、体力を競い合い、さらに一流選手はプロとしての活躍ができる土壌が作られ、日本でもスポーツが人々の生活に欠かせないものとして発展するきっかけになりました。

このたびの開催決定に際しては、自分たちの子供や孫世代にも、あの感動をぜひ味あわせてやりたいものだと思いました。

しかし、今回は当時に比べて、ただ前向きになるにはあまりにも厳しい条件があります。未解決な原発問題や予想される災害への備え、そして東京一極集中への地方の批判など、より問題は複雑になっています。招致反対の声も少なくありませんでした。

ある期限への目標設定を設けられたことは、確かに震災以来、よりどころのない不安を抱えていた日本全体の気分を変えました。でも課題解決にはより努力が必要で、世界一流のアスリートたちを迎える私たち日本人に新たに大きな責任が生まれました。

9 月末、好評のうちに NHK の朝のテレビドラマ「あまちゃん」が終了しました。東北地方の架空の一都市、北三陸市を舞台に、アイドルを目指す主人公とその周囲の人たちを描いたドラマは、多くの日本人の心を捉えました。その中で、震災後「なんか申し訳なくてやる気になれなくて」という女優、鈴鹿ひろ美（薬師丸ひろ子）に対して、主人公の母、天野春子（小泉今日子）が言ったセリフが忘れられません。

「東北の人間が働けって、言ってるんです！」

祖母、夏ばっぱ（宮本信子）の「おがまいなぐ（お構いなく）」という返事も聞こえてきそうですが、働かせていただかなきゃなりませんね。

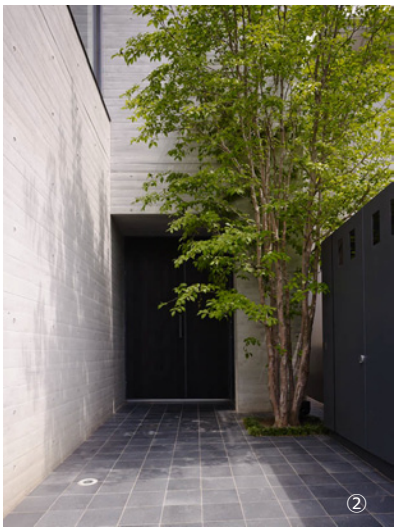
Zefa

シンボルツリーのあるオフィス

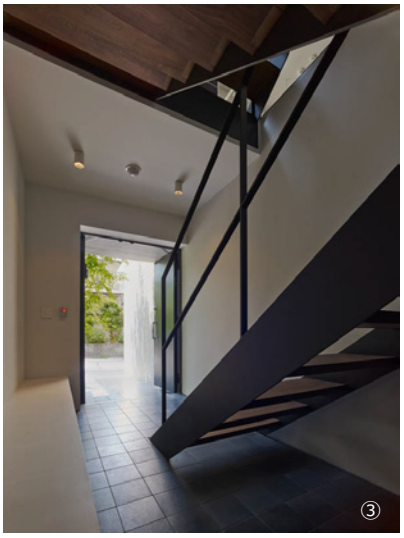
表参道から少し入った閑静な住宅地に建つ、広告代理店のオフィスビルである。

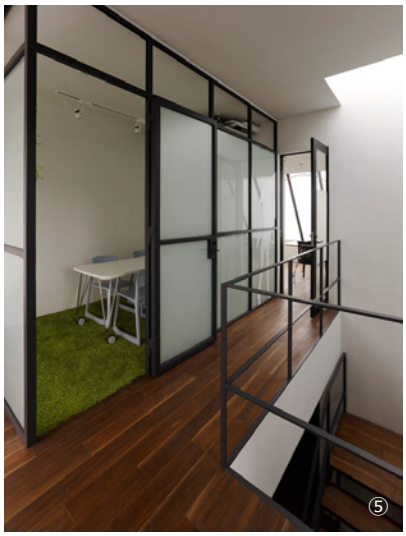
1 階がテナント、2 階が従業員のワークスペース、3 階がいくつかの打合せスペースからなっている。敷地周辺の落ち着いた雰囲気を反映して、杉板打放しによる外壁仕上とスクエアな二つのボリュームが重なった、小さいながらも存在感があり、時間の経過とともにさらに魅力を増してゆくような建物を設計した。

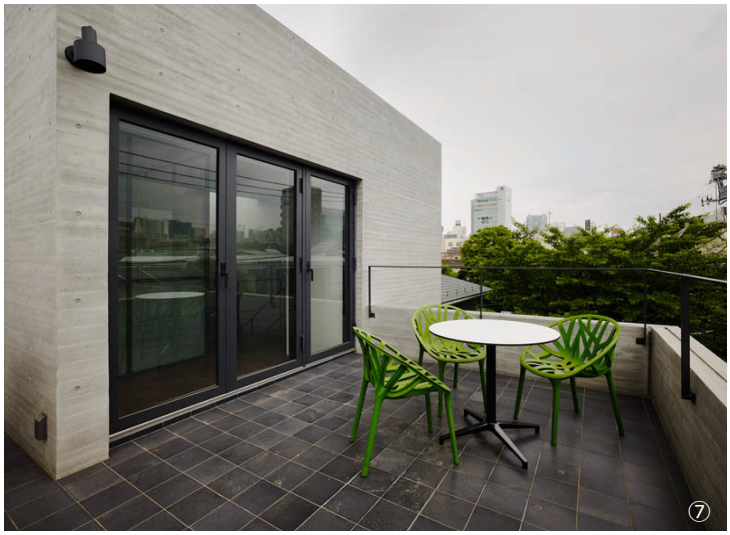
（大堀伸）



所在地：渋谷区
構造：RC 造
規模：地上 3 階
用途：事務所・店舗
設計：大堀伸／ジェネラルデザイン
施工担当：奥村
竣工：2012.04
撮影：阿野太一







①全景②シンボルツリー「姫沙羅」の木が迎えるエントランス③1 階の入口を入ると階段室。吹き抜けで上部まで 1 つの空間となっている④2 階から 3 階への階段よりオフィススペースを臨む。3 階は 2 つの会議室とテラスになっている⑤ 3 階打ち合わせスペースは鉄骨の造作で仕切られている⑥2 階オフィス⑦3 階テラス

CG 独自の可能性を追求

渡辺健児 /COMPUTER VISUALISATION 代表

ロンドンオリンピックのオフィシャルイメージとして使われたＣＧ

Kenji Watanabe

渡辺健児氏。隅田川の河畔にある事務所にて。　撮影：アック東京

今月は、この 9 月にお引渡させていただいたた「表参道けやきビル」で、独特な形の柱の納まりやその型枠を検証するための CG を作成された、渡辺健児氏にお話を伺いました。

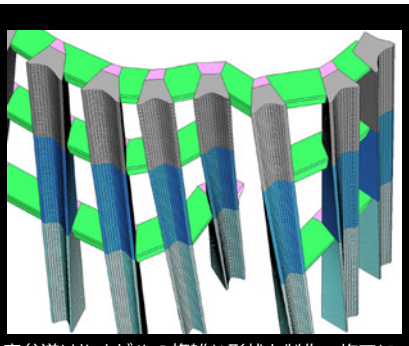
―ロンドンオリンピックのスタジアムの CG を作成されるなど、海外でまず仕事の場を広げられました。
渡辺：大学を卒業してストリートファニチャーや家具を作っているメーカーでプロダクトデザインの仕事をしていたのですが、かねてから海外での生活をしてみたいと考えていました。当時は、ロンドンのデザインが非常にパワフルで、最初の 1 年くらいは語学の勉強とヨーロッパ中をとにかく旅行しました。なんとか英語が出来るようになり、小さなデザイン事務所に潜り込み、プロダクトデザインを 1 年ほどやったのですが、イギリスではプロジェクトベースの契約が普通なので、その仕事が終わると同時に次の仕事を探さなくてはなりませんでした。プロダクトデザインの業界は、もともと 3D の普及が早く、私も CG で自分のデザインを人に見せていたのですが、それを見た現地のインテリアデザイナーやディベロッパーなどから CG の仕事を請け負うようになりました。そうこうしているうちに、知人の紹介で建築のＣＧを制作している事務所で働くことになったのです。リチャード・ロジャースといった著名建築家の仕事を数多くやっている事務所で、当初から国際コンペなど大きな仕事に携わることができたのはラッキーでした。
　その頃からデザインの興味の対象が建築の方へと移っていきました。「今更建築の設計は出来ないが CG 制作でなら何かができる、しばらくやってみよう」と思いました。その後ワールドトレードセンター跡地の再開発事業やロンドンオリンピックといった仕事を経験し、2008 年に帰国して独立しました。帰国してからは槇総合計画事務所といったアトリエ系設計事務所から、組織設計・ゼネコンまで幅広くお手伝いさせて頂いています。

―CG というと、マンションなどの広告で拝見することもありますが、どんなかたちで作られていくものなのでしょうか。
渡辺：建築のＣＧといってもいろいろあるのですが、うちの事務所では企画や設計の段階でのビジュアライゼーションが主な仕事です。特にコンペなどでは、最初、詳細な情報のない中で形を 3Dおこし、マテリアルやライティングの設定をし、パースやアニメーションにしていかなければなりません。すべてが同時進行でタイトなスケジュールの中、設計者といかにコミュニケーションを密にするかが重要となってきます。設計者が発する言葉を聞き、何を表現したいのかを確認し、さらに最適な表現を考えます。
　私はこの仕事をある意味「DJ」のようなものではないかと考えています。建築家にいかに気持ちよく踊ってもらうか―。建築家が自信を持ってプレゼンテーションに臨めるようなビジュアルを提供したいのです。
　以前は、建築家が自らパースを描いていたのですが、現在は分業化が進み、第三者が代行しています。そうなるとまずは、建築家の意図を正確に表現することが重要ですが、さらには建築家が考える以上のものを提供できるよう意識しています。現在の国際コンペでは、これまでのフォトリアル CG では印象が弱いと考えています。かといって「手描き」に戻るのは、効率の面で難しい。やはり CG ならではの新しい表現を常に探求していかなくてはと考えています。

―これからのご自身の CG は、どんな方向に進んでいかれると思いますか。
渡辺：前述したとおり、常に CG やアニメーションの新しい表現を追求していくのはもちろんですが、3D を中心とした設計サポートも要望としては増えてきています。今回お手伝いさせて頂いた「表参道けやきビル」がわかりやすい例ですが、3 次元曲線で構成された複雑な形状の SRC 造の構造体の場合、2 次元の図面では 1 本の柱の形状ですら把握できません。そこで我々が正確な形状をまず 3D でモデリングし、それをもとにすべての納まりの検証を行いました。さらには発泡スチロールを使用した型枠制作のためにも使われました。もともと我々は CG 制作のために３Ｄモデルを作るのですが、今回はその精度を上げて施工に必要な情報として使用したのです。設計事務所でも３Ｄで設計していくことは珍しい時代ではありませんが、やはり施工のサポートをするまでには至っていないのが現状ですので、今後も我々がお役に立てることがあるかと考えていますし、実際、同様の仕事を頂いています。
　今後はＣＧやアニメーション制作とともに３Ｄモデルを中心とした設計・施工サポートまで幅広いサービスを提供していきたいと考えています。
―本日は、どうもありがとうございました。

「建築家が自信を持ってプレゼンテーションに臨めるようなビジュアルを提供したいのです」

渡辺健児
1970 年　東京都生まれ
1994 年　日本大学芸術学部卒業、国内メーカーにプロダクトデザイナーとして勤務
1999 年　渡英。デザイン事務所の後 Team Macarie（ロンドンの CG 制作）に勤務
2004 年　リチャード・ロジャースの上海国際空港コンペの CG およびアニメーションにて SIGGRAPH の CG アワード建築部門入賞
2007 年　ロンドンオリンピックメインスタジアムの CG 制作、2008 年帰国、独立
2009 年　槇総合計画事務所による GyeongGi-Provincial Government Office（国際招待コンペ）の CG およびアニメーション制作
2012 年　伊東豊雄建築設計事務所による南洋理工大学 のアニメーション制 CG 作
2013 年　槇総合計画事務所によるナーランダ大学（国際招待コンペ）の CG 制作
現在、JARA/ 日本アーキテクチュラル・レンダラーズ協会・理事も務めている。
http://www.jara-net.com/



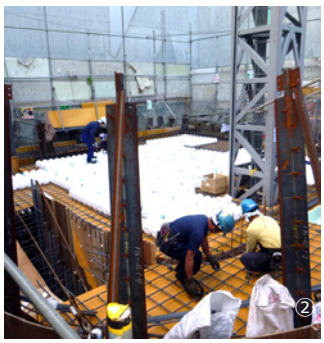
表参道けやきビルの複雑な形状を制作・施工に必要な精度でモデリング

「表参道けやきビル　完成内覧会」　9月12日（木）

9月12日、「表参道けやきビル」の完成内覧会が行われました。内部は、この後テナントの内装工事が始まるため、スケルトン状態ですが、建築設計事務所のご招待のお客様、弊社でお知らせした設計関係の方々、関連会社を含めた関係者など、約280人の方々が訪れました。
着工から完成までの状況を簡単なスライドにして、ご覧いただくコーナーも設け、敷地の基礎工事から、1本1本形の異なる柱を作っていく過程などをご覧いただきました。

ビルのオープンは、11月末になる予定です。
表参道は、海外からの観光客も訪れる、都心でも有数の観光スポットです。有名建築家による建物も数多く並んでいますが、豊かなけやき並木により、建物全体が見通せるものは実は多くありません。この「表参道けやきビル」の建つ場所は、ちょうど交差点で、そのフォルムがよく見えるポイントになっています。たくさんの方に建物の存在を感じていただければ、と願っています。
（建物の詳しいご紹介は12月号に掲載予定です）

所在地：渋谷区
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
規模：地下2階、地上8階
用途：物販店舗
延床面積（m2）　956.61
建築面積（m2）　138.03
敷地面積（m2）　191.53
設計：團紀彦建築設計事務所
構造設計：オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
鉄骨製作：三井造船千葉機工エンジニアリング
施工：辰



①2012年夏、鉄骨地下建方状況（スライドショーより）②2012年秋、ボールボイド、スラブ配筋組立て状況（スライドショーより）③けやきビルエントランス④3階のスライドショーコーナーでは内覧を終えた方たちが興味深くご覧になっていました

「GRAND HILLS EBISU(恵比寿南マンション）新築工事」
電柱移設、道も広くなりました

この8月、竣工した恵比寿南マンションでは前面道路が狭く坂道だったため、施工では苦労がありました。特に道に張り出した電柱は狭い道がさらに使いにくいものにしていました。が、工事を機会に移設されました。
工事中は何かと近隣の方にはご不自由をおかけしましたが、防災の観点から改善されることもあり、ご理解をいただければ幸いです。

GRAND HILLS EBISU（恵比寿南マンション）
構造：RC造
規模：地上3階、地下1階　ワンルームタイプ14戸
※恵比寿駅から徒歩4分のマンションです

道に張り出していた既存の電柱

左側の新しい電柱に移設、道もセットバックされた

「(仮称）綾瀬Sビル新築工事」　上棟式
9月29日（金）

千代田線綾瀬駅　西口徒歩5歩の立地で西口駅前の3方道路に面する真っ白いビルになります。テナント募集中です

構造：RC造
規模：地上5階
用途：店舗併用住宅
（1、2階店舗　3～5階賃貸マンション）
設計：みかんぐみ
竣工：2013年10月

「GLACIEL」が
『商店建築』10月号に掲載されています

9月号でご紹介した、表参道のアントルメグラッセ（アイスクリームケーキ）の専門店です。ご覧ください。

構造：S造
規模：地上2階
用途：店舗
設計：美和小織／LITTLE
竣工：2013年7月

編集後記

・NHKの朝のテレビドラマ「あまちゃん」が好評のうちに終了しました。舞台となった東北地方の町「北三陸市」は岩手県久慈市がモデルだそうですが、弊社には、3人の久慈市出身者がいます。以前は4人でしたが、1人は故郷に戻って東北で新たな仕事に挑んでいます。

(株)辰 通信　Vol.163　発行日　2013年10月10日　　編集人：松村典子　発行人：森村和男
東京都渋谷区渋谷3-8-10　TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450　E-mail：daihyo@esna.co.jp　URL：http://www.esna.co.jp